

学校教育目標

つながり、高め合う子どもの育成

目指す学校像

子どもも教職員も互いに学び合う学校

重点目標・具体的方策

- ・授業と集団作りを通して、子どもの主体性を伸ばす
- ・安心安全な学校・相互信頼の関係づくりに努める

学ぶ力をつける

- ①「夢や目標」をもち、努力する子どもを育てる
- ②子どもが主体的に学ぶ授業（授業改善）に取組む
 - ・木のっこスタイルの実践
 - ・校内研の取組
- ③基本的な生活習慣の確立
- ④学習規律の定着
 - ・学ぶ姿勢、学習ルールの徹底
- ⑤基礎学力の定着
 - ・漢字・計算などの反復練習
 - ・授業における振り返りの重視
 - ・個別最適な学びの追究
 - 個別指導、個に応じたAIドリル等の活用
- ⑥家庭で学ぶことも
 - ・授業と家庭学習のサイクル
- ⑦読書活動の充実
 - ・朝読書の充実、図書館活用

人を大切にできる力を高める

- ①子どもの心に寄り添う生徒指導
 - ・子どもが抱える背景を把握した上での丁寧な生徒指導（子どもを語る会、ケース会議、校内支援会議、家庭連携）
- ②認め合い、支え合う集団づくり
 - ・子どもが主体となる活動推進
 - ・人間関係を築く活動の充実（学級活動、行事の取組、縦割り活動、児童会活動）
- ③しなやかな情操の育成（茶道体験、芸術鑑賞、校外学習、体験活動等の重視）
- ④いじめを許さない集団づくり
- ⑤人権学習の実践
 - ・校内人権週間の充実
 - ・人権感覚を磨く授業や取組

元気な体をつくる

- ①体力向上の取組
 - ・運動量確保（体育、休み時間、家で運動）
 - ・外遊びの奨励
 - ・体育の宿題、運動会、マラソン大会、水泳、縄跳び大会等での目標設定と実践
 - ・新体力テスト結果を踏まえた指導の工夫
- ②健康の基盤となる生活習慣の形成
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」
 - ・食育指導の充実
 - ・掃除・整理整頓指導の充実
- ③安全意識の向上や実践力の育成
 - ・様々な災害・危機を想定した避難訓練の実施、防災教育
 - ・危険予測、判断力の育成

子どもに寄り添う教職員

* 子どもに学び、向かい合う教師 * チーム力の向上（組織的、協働的に取り組む教職員集団）

「信頼」される教職員の姿

* 木小教職員クレド（10か条）の実践 * 学び続ける教師、子どものモデルとなる教師

地域とともにある学校

○地域学習の充実 ○環境整備の推進 ○積極的な情報発信 ○学校評価を生かす

- ①学校評価（保護者や地域住民の声）を学校運営に生かす
- ②子ども園・小・中の連携を通して互いを知り、一貫して教育にあたる関係づくりの構築
- ③地域の歴史・文化・人から学ぶ教育を推進、地域人材、学校支援ボランティアの活用推進
- ④授業公開、各種通信、HPやメール配信等による積極的な情報発信